

新交通 日暮里・舎人ライナー

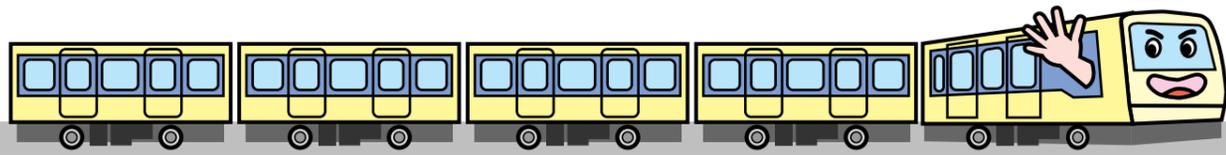
地域をむすぶ。
明日が変わる。



東京都



東京都地下鉄建設株式会社

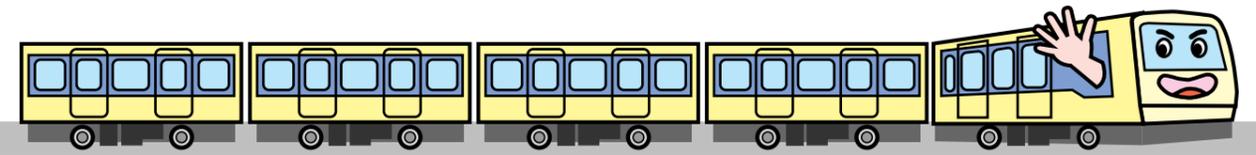
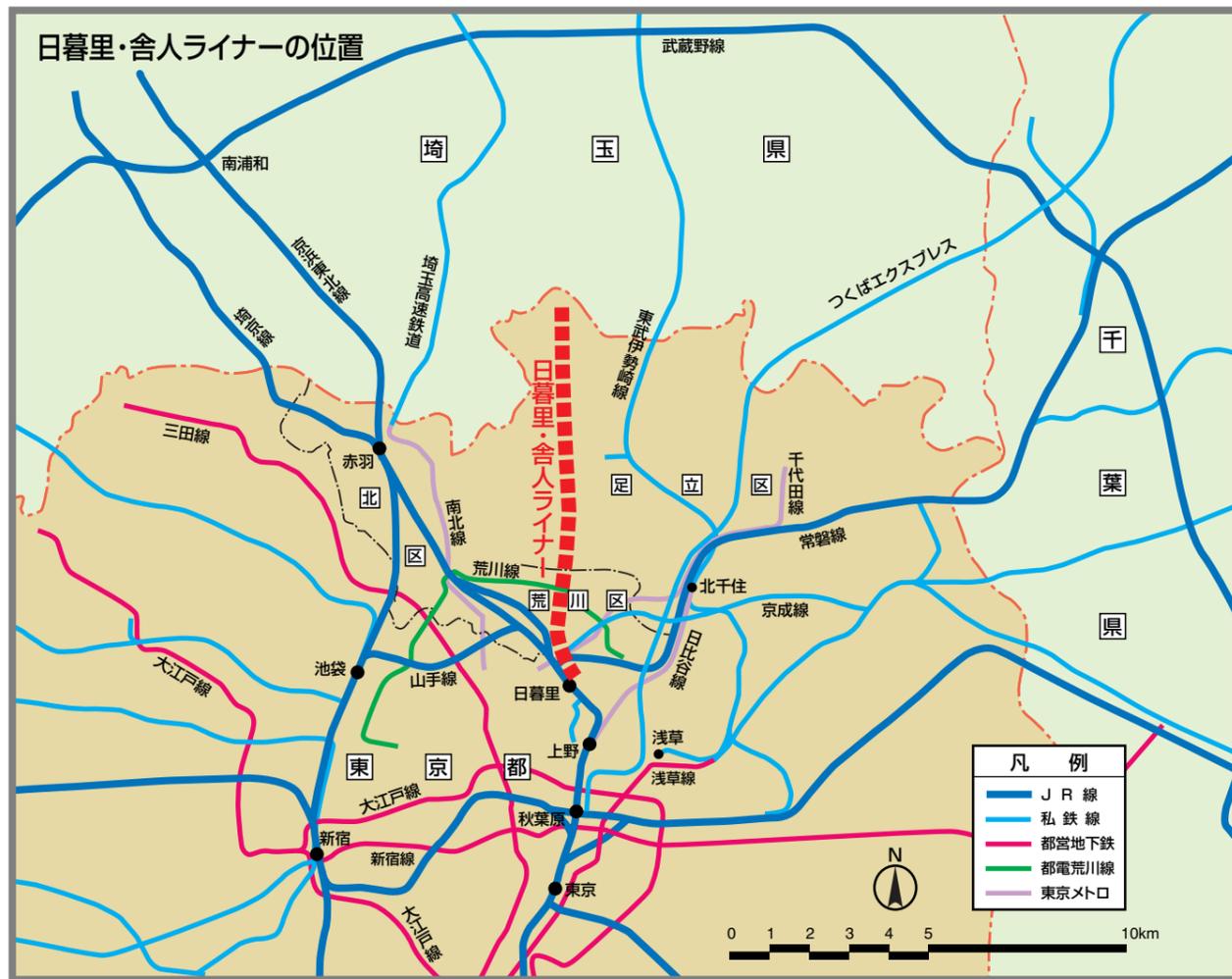


日暮里・舎人ライナーについて

日暮里・舎人ライナーは、荒川区の日暮里駅を起点として、足立区の舎人地区に至る延長約10kmの新交通システムです。この路線は、昭和60年7月の運輸政策審議会答申「東京圏における都市高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」のなかで、建設することが位置づけられました。

日暮里・舎人ライナーは、東京都が、軌道の支柱、桁、駅部の主要構造物を建設し、東京都地下鉄建設株式会社が、車両・電気・通信等各种施設の整備を行っています。

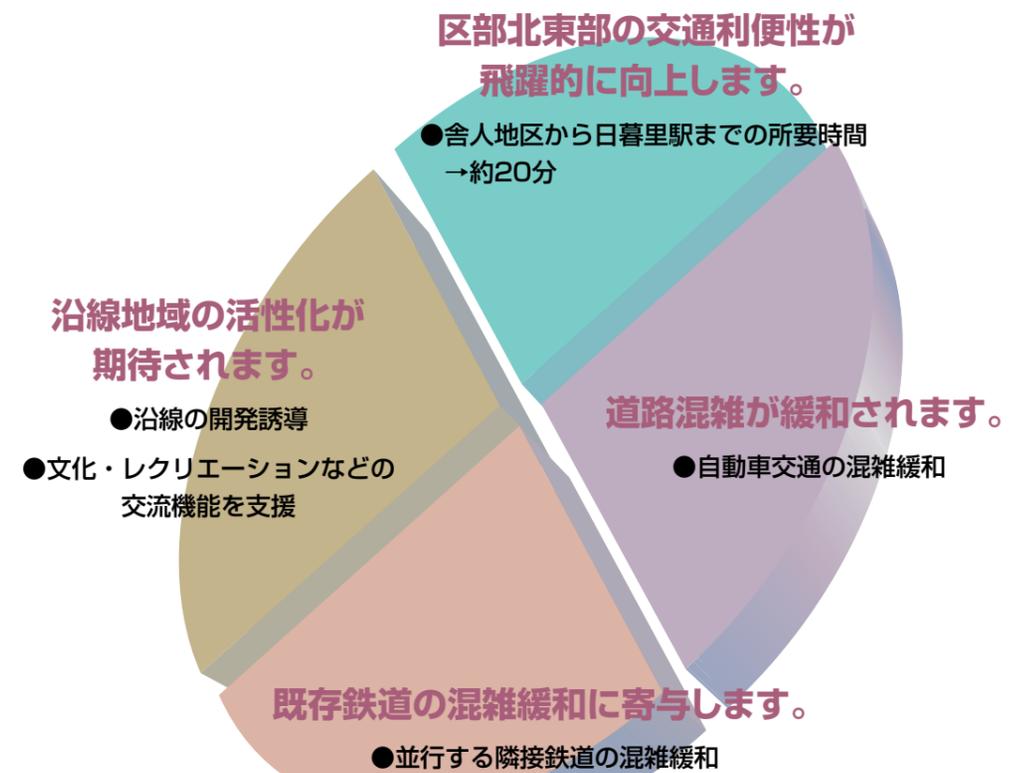
東京都及び東京都地下鉄建設株式会社は、日暮里・舎人ライナーの平成19年度開業に向け、最大限の努力をしておりますので本事業への皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



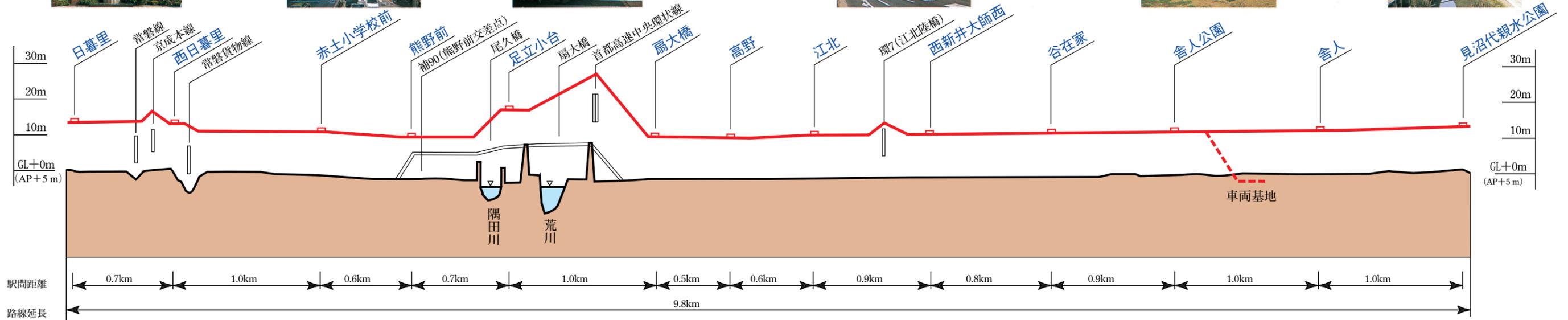
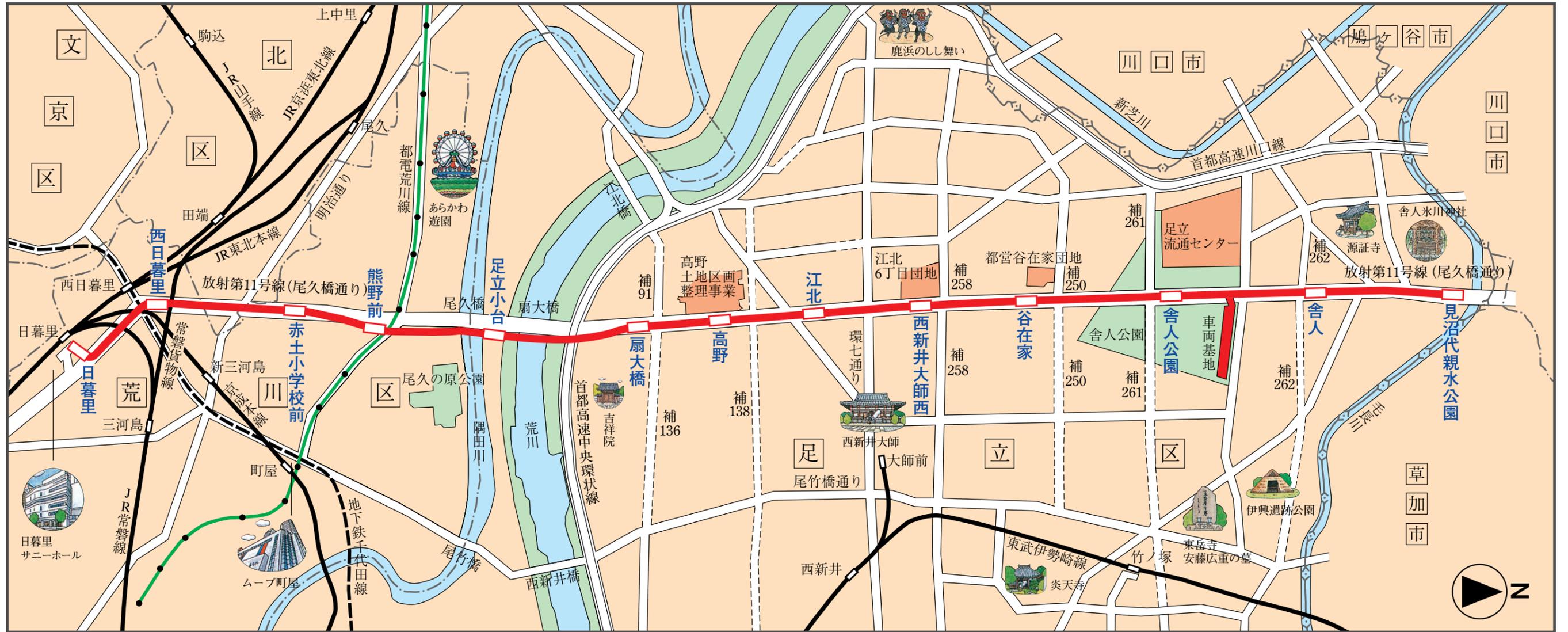
事業概要

建設区間	日暮里駅～見沼代親水公園駅間
路線延長	9.8km (建設キロ)
駅数	13駅
輸送システム	側方案内軌条方式による新交通システム (例：新交通ゆりかもめ)
車両編成	5両編成 (定員約260人)
所要時間	約20分 (表定速度 約29km/h)
構造形式	複線高架形式
開業予定	平成19年度

日暮里・舎人ライナーが整備されると



日暮里・舎人ライナー 路線概要図

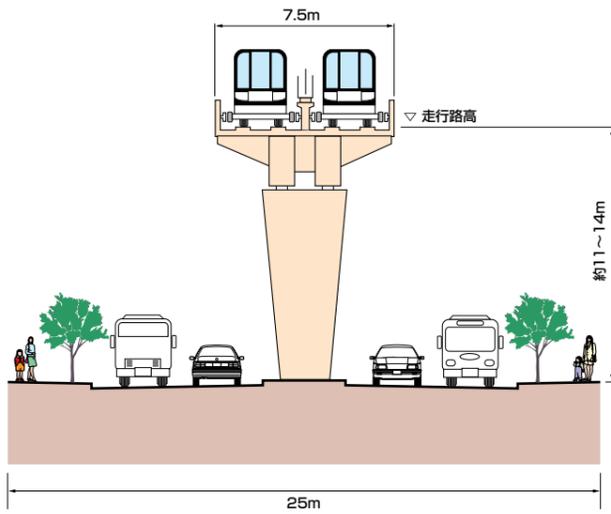


一般部標準断面図

軌道は、全線複線で高架構造となります。
また都市環境には十分配慮し、
周囲の環境と調和したデザイン・色彩といたします。

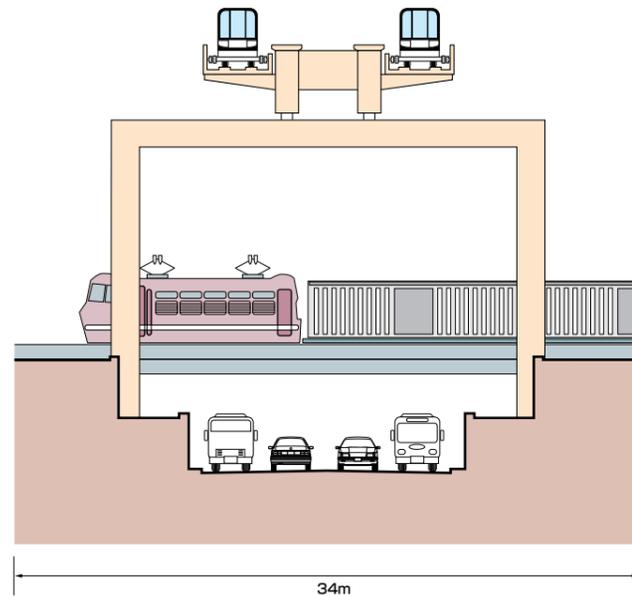
一般軌道部

軌道は基本的に道路の中央を通ります。



鉄道交差部

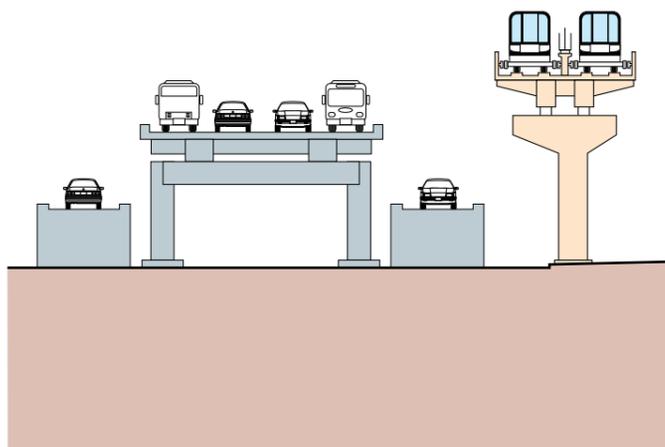
常磐線・常磐貨物線との交差部では、
門型の支柱となります。



(例：常磐貨物線交差部)

渡河部（取付区間）

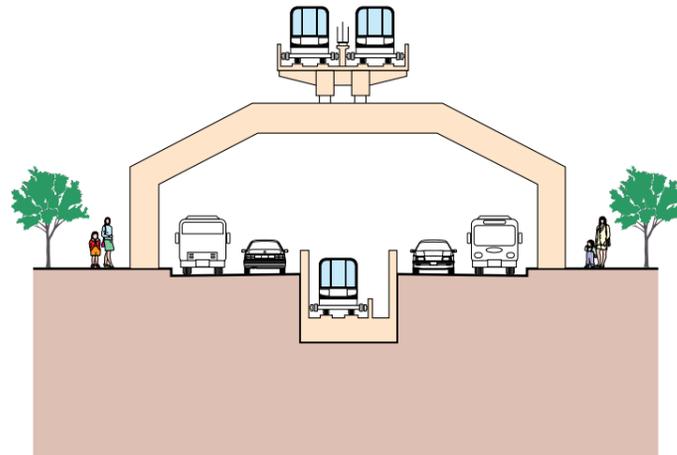
渡河部の取付区間においては、尾久橋通りの
東側寄りを通ります。



(例：熊野前付近)

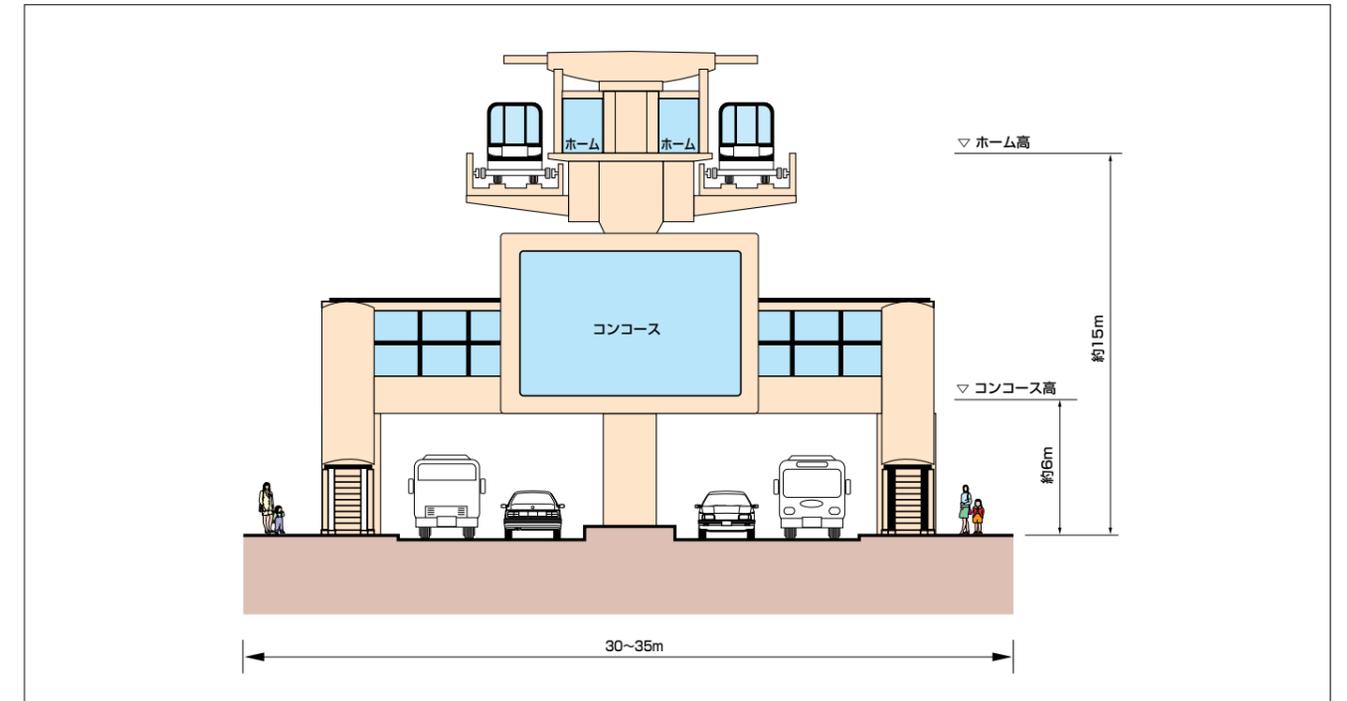
出入庫線併設部

舎人公園駅付近では、出入庫線が
一般軌道の下を通ります。



駅部標準断面図

駅舎は高架2層構造で、3階がホーム、2階がコンコースとなります。
また、お年寄りや身体の不自由な方などだれもが安心して利用できるように、
エスカレーターやエレベーター等を設置する予定です。



一般軌道部～渡河部（取付区間）



新交通システムとは

新交通システムとは、道路を立体的に利用した専用軌道上を走行する、バスと鉄道の中間程度の輸送力をもつ新しいタイプの交通機関で、次のような特徴をもっています。

〔安全性・信頼性〕

道路上の高架専用軌道を走行しますので、交通渋滞や交通事故の心配がなく、時間どおりに目的地に到着します。



〔低公害性〕

電気を動力としていますので、排気ガスが出ず、環境にやさしい乗物です。



〔快適性〕

車輪はゴムタイヤを使用していますので、騒音・振動が小さく快適な乗り心地です。



〔コンピューターの高度利用〕

コンピューターの高度利用により、利用者のニーズに合わせた多様な運行ができます。

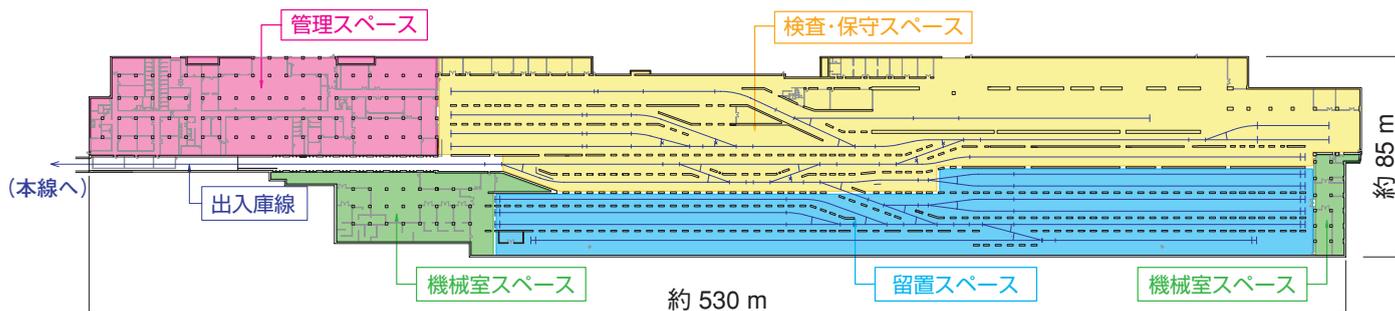


〔経済性〕

道路上空を利用し、車両を小型軽量化することによって、建設費が地下鉄に比べ節約できます。



車両基地概略図



車両基地は新交通システムを運行するために欠くことのできない重要な施設です。

本事業の一部は「ガソリン税、自動車重量税等」の財源をもとに国土交通省の国庫補助により、東京都の都市計画事業として施行するものです。

このパンフレットについてのお問い合わせは

東京都 建設局道路建設部

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2丁目8番1号 ☎03-5320-5336 (ダイヤルイン)

東京都地下鉄建設株式会社 新交通本部

〒116-0002 東京都荒川区荒川7丁目50番9号 センターまちや5階 ☎03-3800-6702